



新たな社員研修として注目の プロボノ・他社留学とは

エッセンス株式会社

一般的な4つの社員研修方法

社員研修は、職場で必要となる知識や技術を学び、必要なスキルを習得することが目的です。

分類すると一般的に4つの社員研修方法があります。

01

OJT
(On The Job Training)



実際の社内での実務経験を通じて、知識・スキルを身につける研修。

02

Off-JT
(Off The Job Training)



通常業務以外の場で業務に関する知識を学ぶ研修。セミナーや研修会などの座学が中心。

03

eラーニング



インターネットを活用した研修。PC・スマホ・タブレットなどの電子機器を用いて受講する。

04

ロールプレイング



顧客との対話を想定した、営業や接客のスキルを向上させるための研修。

OJT（On The Job Training）の特徴

ここからは具体的に4つの研修手法について見ていきます。

OJTは、**実践的な研修**ができる一方、**学習内容や品質には懸念**があります。

メリット



実践的な研修ができる

社内業務の中で研修を行うため、座学に比べ、より実践的な学習ができる



部下に最適な指導方法を選択可能

- ・ 上司、部下共に1人ずつのため、部下一人一人に適した指導ができる
- ・ 信頼関係醸成の機会になる



研修コスト削減

自社の社員が指導役を担うため、外部講師を招待する必要が無くコスト削減に繋がる

デメリット



複数の上司が時間を割く必要あり

1on1で行われるOJTは、複数の上司が指導に時間を費やす必要がある



担当者により学習効果に差あり

指導能力の差により、部下一人一人に適した指導を行うことができなかった場合、研修参加者間の学習効果に差が生じる可能性がある



網羅的な指導が行いにくい

現場での実際の業務に沿って進めるため、イレギュラーケースを学習することが困難

Off-JT（Off The Job Training）の特徴

Off-JTは一度に同一品質の学習ができる一方で、
仕立てによってはコストが発生する可能性もあります。

メリット



同時に同じ研修を実施可能

1人の講師が一度に大人数へ同じ研修を行うため、一人ひとりに時間を割く必要がなく、研修効果に差が生じにくい



他研修手法の効果が高められる

事前にOff-JTを行うことで、効果的にOJTを行うために必要な知識を蓄えることが可能



社内人脈の構築

- ・これまで接点の無かった社員との交流が期待できる
- ・双方向型のコミュニケーションで理解を深めることができる

デメリット



研修コストがかかる

- ・講師料・施設料・参加料などのコストが発生する
- ・学習効果も、講師のスキルに依存



個別の対応が難しい

偏りのない同一の指導を行うことができるからこそ、理解度ごとの個別対応が難しい



業務外の時間で参加する必要あり

通常業務を中断するため、仕事のしわ寄せが発生した場合には、社員・企業ともに負荷がかかる可能性が高い

eラーニングの特徴

eラーニングは時間・場所に縛られずに学習できる一方で、
学習内容に限りがあり、モチベーション維持が難しいというデメリットがあります。

メリット



時間や場所を限定しない

オンデマンドのためいつでもどこでも学習可能



学習状況が把握しやすい

主催者は、参加者の進捗状況や理解状況を簡単・効率的に管理できるため、研修者の課題を理解し、今後の研修計画を立てることができる



同品質の教育を大人数に提供可能

登録された教材をいつでも繰り返し閲覧・視聴することができるため、疑問点があっても反復学習や学び直しができる

デメリット



モチベーション維持が困難

- ・モチベーション管理が参加者に委ねられ、学習に理解が伴わない可能性や、計画通りに進捗しない可能性がある
- ・人的ネットワークの拡大が困難



実技の習得が難しい

- ・実技の習得を行う場合は、リアルタイムかつ双方向のフォローが必要
- ・双方向コミュニケーションを取るためのインフラ整備にコストが発生



導入コストがかかる

- ・自社の独自教材を作成する場合、労力やコスト面で企業への負担が大きい
- ・既存システムを導入する場合も、コストは発生する

ロールプレイングの特徴

ロールプレイングはより実践的な学習ができる一方で、
時間・費用のコストの発生と、緊張感に欠けやすいというデメリットがあります。

メリット



現場に近い状況を体験可能

臨機応変に対応する経験を積むことができ、お客様との対話に慣れることができる



その場でフィードバックができる

指導役の上司からのフィードバックを通じ、自身では気が付かなかった改善点を発見することができる



他の研修参加者から学べる

他の研修参加者が実践するロールプレイングから、良い営業や接客を客観的に学ぶことができる

デメリット



時間がかかる

上司役に対し参加者が多い場合は、必然的に研修時間が長くなる



人的コストがかかる

1回あたり1人の研修者と1人の顧客役の上司が実践するため、上司も含めた人的コストの発生



緊張感に欠ける

毎回同じメンバーで実施する場合は緊張が薄れてしまい、効果的な研修を行うことができない場合も

新たな研修方法の「プロボノ・他社留学」とは

紹介した研修方法はいずれも上司や講師の能力に依存し、時間・費用などのコストも発生します。

これらを解消する研修手法として、「プロボノ」や「他社留学」が注目されています。

OJT	Off-JT	Eラーニング	ロールプレイング
<ul style="list-style-type: none"> ①複数の上司が時間を割く必要あり ②担当者により学習効果に差あり ③網羅的な指導が行いにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ①研修コストがかかる ②個別の対応が難しい ③業務外の時間で参加する必要あり 	<ul style="list-style-type: none"> ①モチベーション維持が困難 ②実技の習得が難しい ③導入コストがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ①時間がかかる ②人的コストがかかる ③緊張感に欠ける

プロボノ

- NPOやスタートアップ企業の課題解決に挑む
- スキルの棚卸やキャリア自律、事業立ち上げ経験の獲得に繋がる



他社留学

- 未知の会社やメンバーと共に実践的に学ぶ
- 事業・組織の変革を牽引できる次世代リーダーの育成に繋がる



プロボノ・他社留学が注目される背景

新たな研修方法であるプロボノ・他社留学が注目される背景として、
企業・個人が成長を続ける必要性の高まりや、キャリア自律の促進があります。

求められる人材の変化

様々な環境変化が訪れる現代では
時代の変化に柔軟に対応し
自ら成長できる人材が求められる



主体的なキャリア形成

経済状況の変化に伴い、
個人がキャリア開発に主体的に
取り組む必要性が高まった



プロボノ・他社留学

- 普段と異なる業務経験を通し、自発的かつ前向きな姿勢を身につけることで、自ら成長できる人材へ変革する
- 現在の業務や仕事観を見つめ直すきっかけになり、自身の新たな可能性を切り開くことができる

エッセンスの提供するプロボノプログラム”itteki”

- 事例 -

複数の大企業社員による異業種混合チームで、NPOやスタートアップ企業の課題解決に挑むプロボノプログラムitteki

スキルの棚卸やキャリア自律、事業立ち上げ経験の獲得に繋がる

事例企業

東京電力パワーグリッド株式会社



「このチームで良かった」と思えば、最高です
一回騙されたと思って
真っ新な気持ちで行って来て！
人財育成計画立案・研修講師
↓
金属製品の熱処理加工工場へ

受け入れ企業

朝日熱処理工業株式会社

- 留学中の業務内容
→ 働きやすい職場の改革提案
- プロボノから得た経験・学び
→ 価値観・バックグラウンドが異なる多様性に富んだチームが1つの目標に向かうことの難しさ



参照：東京電力パワーグリッド株式会社×朝日熱処理工業株式会社様の導入事例

エッセンスの提供する他社留学

- 事例 -

未知の会社やメンバーと共に、課題発見や課題解決を生きたテーマで実践的に学ぶプログラム

スタートアップ特有の事業スピードに触れ、事業・組織の変革を牽引できる次世代リーダーの育成に繋がる

事例企業

ピジョン株式会社



ピジョン株式会社：島崎様



受け入れ企業

MIKATA株式会社

- プロボノプログラム中の活動内容
 - ①新規プロジェクトの考案・実現
 - ②他者メーカーとの座談会の企画・実現
- 留学から得た経験・学び
 - ①プロジェクト考案・実現
 - ②他者メーカーとの座談会の企画・実現
 - ③仕事を行う上での「軸」の重要性



参照：ピジョン株式会社×MIKATA株式会社様の導入事例

企業概要

Mission

エッセンスの存在意義

新しい、仕事文化をつくる

Vision

目指す姿

企業と個人の新しい関係性を実現する

企業 | 雇用から活用へ

個人 | 自立した生き方を

Company

企業情報

会社名	エッセンス株式会社	事業概要	プロパートナーズ (プロフェッショナルの紹介) リクルーティング (ヘッドハンティング及び人材紹介サービス) 他社留学 (越境型研修サービス) プロボノ (社外体験プラットフォーム) CAREER FLIGHT (新しい働き方実現プラットフォーム)
代表者	代表取締役 米田 瑛紀		
設立	2009年4月7日		
資本金	13,000,000円	メンバー	21名
所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町1-11-1 Nihonbashi OK Bldg 5F TEL. 03-6661-7747 (代表) FAX. 03-6661-774	許可	厚生労働省許可 (13-ユ-304173)